



九木崎樹叢 (県指定天然記念物・尾鷲市)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 TEL 059(224)2877

FAX 059(229)1931 MAIL gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL https://www.gijiroku.jp/mie/(スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai(Facebook)

議会  
ホームページ



スマホ版  
議会だより



議会  
Facebook



## ～令和8年度当初予算などについて議論～ 令和8年三重県議会定例会 2月定例会、3月会議

県民の命と尊厳を守る「安全・安心な暮らしの実現」や「子どもの健やかな成長を支える環境づくり」、未来を拓く「時代の変化と潮流を捉えた産業振興」や「観光振興と三重の魅力のプロモーション」等に重点を置いた令和8年度当初予算のほか、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けている生活者や事業者に対する支援等を実施するための補正予算、「三重県県行造林」ークレジット基金条例案」等について審議・可決しました。また、伊勢茶に親しむ暮らしの推進を図り、もって伊勢茶の振興に寄与することを目的とした「伊勢茶に親しむ暮らし推進条例」を制定しました。

### 本号の主な内容

- 1面…………… 今後の日程(予定)、代表質問
- 2～3面……… 一般質問、用語解説
- 4面…………… 伊勢茶に親しむ暮らし推進条例を制定、知事への提言・国への意見書提出、議員勉強会を開催、文書による質問、インターネット中継・録画配信のご案内、審議結果と主な開催実績

## 三重県議会定例会 今後の日程(予定)

5月から6月までの日程(予定)は次のとおりです。

5月	6月
12日 代表者会議 議会運営委員会	3日 本会議(議案上程)
14日 代表者会議	8日 本会議(議案質疑)
15日 代表者会議	10日 本会議(一般質問)
18日 代表者会議 議会運営委員会	12日 本会議(一般質問)
19日 本会議(役員改選)	16日 本会議(一般質問)
21日 代表者会議	18日、19日、22日、23日 各行政部門別常任委員会・分科会
22日、25日、26日 各行政部門別常任委員会	26日 予算決算常任委員会
27日 議会運営委員会	29日 代表者会議 議会運営委員会
29日 特別委員会	30日 本会議(採決)

※この日程は、令和8年4月5日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」でご覧いただけます。



TV テレビ中継 インターネット中継

### 傍聴のご案内

三重県議会では、開かれた議会運営を目指して、本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、代表者会議、議案聴取会、全員協議会、広聴広報会議等を公開で開催しています。

どなたでも会議を傍聴することができますので、議会の日程をご確認の上、三重県議会議事堂までお越しください。



傍聴のご案内

## 代表質問



### ジェンダーギャップ解消に向けた今後の方向性について

すぎもと ゆや  
杉本 熊野 議員 新政みえ/津市選出



問

報道によると、フルタイムで働く男女の賃金格差は、過去19年間の平均で三重県が全国最下位でした。令和8年1月にジェンダーギャップ解消フォーラムが開催され、学ぶべきことが多くありました。知事の受け止めとジェンダーギャップ解消に向けた決意、今後の取り組みの方向性を伺います。

答

フォーラムの事例発表で出た「ロールモデル」と「短時間正社員制度」というキーワードはとても大事だと考えます。令和7年度に策定予定の「三重県ジェンダーギャップ解消基本戦略」に基づき、アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)解消に向けては条例制定を検討するなど、「予算」と「条例」の両輪で取り組みます。三重県全体で考える風土をつくり、ジェンダーギャップを解消していきたいと考えています。

### その他の質問事項

- 子どもたちの「自立する力」「共生する力」「創造する力」を育むために
- 多文化共生のさらなる推進を！ ほか



### 地域計画に基づく農地の集積・集約について

あおき けんじゅん  
青木 謙順 議員 自由民主党/津市選出



問

本県の基幹的農業従事者は、平均年齢69.8歳、70歳以上の割合が63%と、高齢者が占める割合が非常に高く、今後急激に減少する可能性があります。少ない人数で農業生産を継続するためには、新規就農者の確保と併せて、農地の集約化も重要と考えますが、県の取り組みをお聞かせください。

答

県では各農林水産事務所に、市町、JA、農地中間管理機構等から成るチームを設置し、担い手への農地の集積・集約化を進めており、農地集積率は毎年度増加しています。一方で、全市町で策定された533の地域計画のうち、将来的な集約化が計画されたものは16%に留まるため、集積・集約化に向けた地域の合意形成のサポートや、計画作成におけるデジタル技術の活用の実証に取り組み、農地の集約化につなげます。

### その他の質問事項

- 地域を支える建設業の活性化について
- 地域を支える事業承継の取り組みについて



### インバウンド誘客について

のむら やすお  
野村 保夫 議員 自民党県議団/伊勢市・鳥羽市選出



問

県や地域のさまざまなインバウンド誘客の取り組みが功を奏し、全国と比較して遅れていた県の外国人延べ宿泊者数のコロナ禍からの回復に、兆しが見えると聞きます。回復を着実なものにできるよう、令和8年度当初予算で注力するインバウンド誘客に向けた知事の思いをお聞かせください。

答

令和8年度はインバウンド拡大攻勢プログラムとして予算を増額し、ゴールデンルートからの誘客促進等に取り組みます。また、データに基づきインバウンド誘客に向けた計画を策定し、重点的に取り組む国等を絞り込むとともに、受入環境の充実とプロモーションを両輪で推進します。インバウンド誘客は成果が表れるには時間がかかる一方、取り組みをとめるとすぐに来なくなるなどの指摘もあるため、地に足を着けて取り組みを推進します。

### その他の質問事項

- 大規模災害時の受援対策について
- 医師の確保・偏在対策について ほか